

教材No.	8	SDGsの今昔未来物語 ～世界を豊かに～
関連教科	特別活動、公共、歴史、国語、家庭、理科、各種専門学科	
関連SDGs	目標9（産業と技術革新の基礎をつくろう） 目標17（パートナーシップで目標を達成しよう） など	

■教材の概要

- ①SDGsの目標達成にはビジネスの力が不可欠であり、そのビジネスは高校での探究の延長線上にあることの理解を深めます。
- ②ビジネスは道徳的なものであり、独創的なものであることの理解を深めます。



■学びの流れ（赤：起承転結の発話、緑：生徒ワーク）

段階	活動内容
導入 10分強	1 （アイスブレイク） 2 「SDGsを意識したビジネス・仕事が増えているようです。」 3 （SDGsに取り組む企業の一例を簡易紹介） 4 （ワーク1：SDGsに取り組む企業のサイトを閲覧し、関心を持った企業について相互に紹介しよう。）【個人の後グループ】
展開1 10分弱	5 「なぜ事業・ビジネスでSDGsに取り組むのでしょうか？」 6 （事業・ビジネスという活動形態の特徴を簡易説明）
展開2 25分強	7 「ビジネスは拝金主義の独善的なものなのでしょうか？」 8 （渋沢栄一について簡易説明） 9 （道徳経済合一について簡易説明） 10 （ワーク2：SDGsに取り組む企業の今後の探究テーマを検討しよう。）【個人 or グループ】
まとめ 5分弱	11 「事業・ビジネスの本質は誰かの役に立つことであり、仕事・商売を通じて公益を追求できることを学びました。」 12 （まとめ：SDGs・探究・価値づくりの観点で、ポイントを振り返る。） 13 （各人での振り返り、中間課題の予告・説明、等）

■指導上の留意点（赤枠：起承転結の発話、緑枠：生徒ワーク）

段階	指導上の留意点、教材作成の狙い
事前活動	0 （授業予告と簡易思考問題の提示：保護者など身近な大人が仕事を通じてどのようにSDGsに貢献しているか？）
導入 5分弱	1 （アイスブレイク：事前活動の内容を、席の近い人と共有、又は、全体で共有。） 2 「SDGsを意識したビジネス・仕事が増えている」と、学びの導入を行う。 3 （SDGsに取り組む企業事例：指導いただく方にて紹介する企業を選定。） 4 （ワーク1：スライドに記載のURL以外から、SDGsに取り組む企業を検索してくることも可能。）
展開1 20分弱	5 「なぜ事業・ビジネスでSDGsに取り組むのか」と、学びを深める発話を行う。 6 （事業・ビジネスという活動形態の特徴：高校での学びとの共通点と異なる点について説明。）
展開2 20分強	7 「ビジネスは独善的なものなのか？」と、さらに学びを深める発話を行う。 8 （渋沢栄一：ビジネスはそもそも何らかの課題を解決することで誰かの役に立つ活動であるため、誰かのことを想う気持ちがビジネスには伴っているはずなので、ビジネスは基本的には道徳的な要素を含んでいることに適宜言及。） 9 （道徳経済合一に触れる。） 10 （ワーク2：検討をする際は、可能であれば何らかの「独創的な要素」を意識することを助言する。）
まとめ 5分弱	11 「事業・ビジネスで公益を追求できる。」と本日や前回までのワークの意義に言及。 12 （まとめ：SDGs・探究・価値づくりの3観点で、今後の教訓を振り返る。） 13 （振り返りの一例：今後の探究や人生に活きそうな「気づきや印象に残ったこと」を各人でメモ。）
事後活動	14 中間ワーク3：探究テーマを設定することに挑む内容。

■学習の目標

成長軸	指導の目的	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
SDGs	ビジネスを通じて様々な社会課題を解決できることを理解する。	ビジネスは課題解決活動であることを理解している。	目的と照らし合わせて、必要と思われる課題解決策を複数表現することができる。	その当事者こそが担うべき役割は何かを意識して、アイデアを検討している。
探究	社会における探究行為（≡リサーチ）の位置づけを理解する。	探究行為（リサーチ）は、課題解決の実行を支える、重要な前段階の活動であることを理解している。	SDGsに関するビジネス（≡企業の探究）の情報を収集し、どのような目的があるか読み取ることができる。	実社会の課題を解決するために、自分なりの着想を見出そうとしている。
価値づくり	転用や組み合わせにより、価値は生まれることを理解する。	課題解決の実行には、活動に必要なものがある（活動資源を要する）ことを理解している。	解決アイデアの実行のために必要な活動資源を列挙することができる。	アイデアを組み合わせ、独創的な解決策を見出そうとしている。

■教科との関連（評価規準は学習指導要領に記載の、当該科目・単元の目標に準拠）

教科	関連する科目・単元（学習指導要領との対応）	アレンジ例、利用例
特別活動	HR（キャリア教育、起業家教育）	展開1・2のワークにおいて、自分が関心のある企業を対象に実施し、将来のキャリアイメージを考える機会とする。
公民	公共（企業、市場経済、国際社会参画、持続可能な社会づくり、など）	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う。
歴史	明治維新	展開1・2の内容を活かし、渋沢栄一に関する導入又は関連学習として活動を行う。
国語	古典（漢文）	展開1・2の内容を活かし、論語と算盤に関する導入又は関連学習として活動を行う。
家庭	消費生活	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う。
理科	全般	展開1・2の内容を活かし、該当単元に関する技術を用いる企業を参照しながら導入又は関連学習として活動を行う。
各種専門	農・工・商・水・食・福	展開1・2のワークにおいて、該当単元の内容に関するある企業を対象に実施する。

■活動の狙い（SDGsの目標、探究の武器、知財創造教育の要素との関係）

段階	SDGs ゴール	探究 の 武器	知的財産・ 価値 づくりの 武器	尊重			創造			社会		
				人間の 心を尊 重 する	既存の アイデアを尊 重 する	他者の 強みを尊 重 する	課題を 見つける	解決策・ア イデアを考 える	アイデ アを表 現する・伝 える	自他の 暮らしや人 生を豊かに する	持続可 能な「社 会・文化」 に貢献する	「未 来」に 貢献する
導入	9, 17		ネット ワーク		◎		●			●	●	
展開 1	9, 17				◎	●				●	●	●
展開 2	9, 17	独創性 水平思考	ビジネスモ デル	●	◎		●	◎	●	●	●	●
まとめ	1～17 全般											●

■参考文献

No.	文献名称	URL等
1	外務省「JAPAN SDGs Action Platform」	https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html
2	公益財団法人 渋沢栄一記念財団 ホームページ	https://www.shibusawa.or.jp/index.html